

令和5年度

事業計画書

社会福祉法人 揖南福社会

サルビア園

◆◆◆ 目 次 ◆◆◆

1. 事業内容
2. 理念および基本方針
3. 沿革および概要
4. 組織
5. サービス内容
 - (1) 日常支援サービス
 - (2) 日中活動支援サービス
 - (3) 施設環境整備サービス
 - (4) 保健医療サービス
 - (5) 防災安全
 - (6) 苦情解決体制
 - (7) 日課および週課
 - (8) 年間行事計画
6. 地域とのかかわり

1. サルビア園事業内容

障害福祉サービス事業（生活介護事業）定員40名

2. 理念及び基本方針

理念

「幸せに暮らしたい。」生まれたときから誰もがもっている願いです。揖南福祉会では、「その人らしさ」を大切に、どのような障がいがあっても、地域の中の大切な一人として暮らせるように支援します。

支援にあたっての姿勢は、「心に寄り添う」ことを第一とし、自己決定とエンパワメントを両輪として、利用者の権利擁護に努めます。

また、地域の社会資源としての責任のもと、さまざまな団体や専門機関と連携し、利用者のサービスの向上に努めると共に、地域社会の啓発に努めます。揖南福祉会に所属する職員は、福祉事業に従事するものとしての人権感覚を磨き、専門的援助技術の向上に努めます。

基本方針

上記の理念のもと、次のとおり基本方針を定めます。

(1) 人権への配慮

- ① 体罰等の人権侵害の禁止
(身体的虐待・性的虐待・ネグレクト・心理的虐待・経済的虐待)
- ② 人格を尊重した呼称やことば遣いおよび態度で接する。
- ③ プライバシーの保護につとめる。(個人情報・私信等)
- ④ 生命や健康等に関わる場合を除き、本人の嫌がることを強要しない。
- ⑤ 虐待を防止するための必要な措置を講ずる。

(2) コミュニケーション手段の確立

- ① サービスを提供する者は、知的障害のある人にとって、意思疎通の困難さが生活上もつとも不便なことであるという認識をしっかりともつ。
- ② 個別の能力等に応じて、コミュニケーションを行なう。
- ③ 非言語的コミュニケーション(身振り、絵、写真等)の活用
- ④ 常に“傾聴”の姿勢をもつ。(目線を合わせる等)

(3) サービス全体にエンパワメントの視点を取り入れる

- ① サービス内容について、積極的に利用者の意見を取り入れる。
- ② “選択する”機会をできる限り設定していく。

(4) 快適な生活を営むための環境への配慮

- ① 利用者の身体的精神的状況に配慮した施設環境を整える。
- ② 安全な環境づくりを心がける。
- ③ 衛生的な環境づくりにつとめる。

(5) 苦情解決体制の整備

- ① 苦情を申し出やすい環境を整える。
- ② 本人やご家族のおかれている状況を正確に把握し、適切に対応する。
- ③ 苦情としてあがった内容をサービス向上への改善に活かしていく。

(6) 利用者を主体としたサービスの提供

- ① 本人及びご家族の意見をききニーズを把握の上、個別支援計画を作成する。
- ② 個別支援計画の実施については、本人およびご家族に説明を行い同意を得ながら進めていく。

(7) 地域との連携

- ① 地域の人々と好ましい関係を築き、開かれた施設になるよう努力する。
- ② 施設のもつ機能をソフト・ハード両面で地域に提供していく。
- ③ 地域の行事や活動に参加する。
- ④ ボランティアを積極的に受け入れる。

(8) 事故防止マニュアルの充実・職員への徹底

- ① 職員一人一人が危機管理に対する意識を高めると同時に、施設内での事故の防止、または発生時等さまざまな場面のマニュアルを整備し、職員に徹底する。(事故対策マニュアル、感染防止マニュアル、等)
- ② なんらかの事故が発生したら、その原因について考察し、再発防止に努める。
- ③ 事故に至らなかった事例も『ヒヤリハット』事例として、同様に考察し、事故防止に努める。

(9) 防災・防犯体制の整備

- ① 所轄消防署の指導のもと、消防計画を遂行する。
- ② 定期的な訓練の実施により、利用者および職員の意識を高める。
- ③ 職員は、消防機器の取り扱いの熟知に努めて、適切な使用ができるよう訓練する。
- ④ 自然災害を想定したマニュアルの周知に努める。
- ⑤ 不審者侵入等を想定した防犯マニュアルの周知に努める。

(10) 職員の質の向上

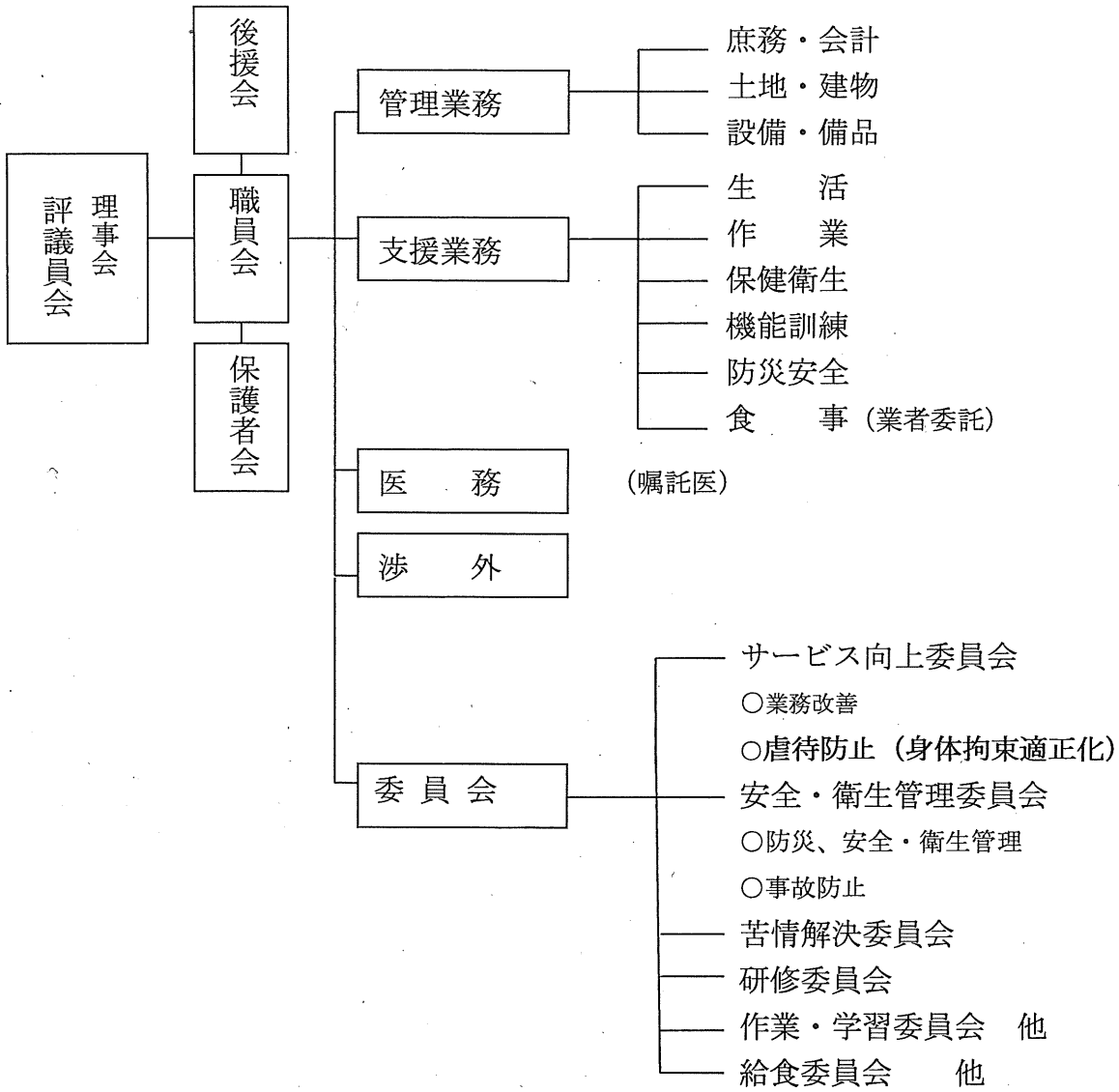
施設のサービスの質を決定するのは、職員一人一人の質である。職員は、広く福祉全体の流れを踏まえた研修を積む必要がある。また、対応困難なケースについて、専門的な対応ができるように努力する。その「専門性」とは、人権尊重の理念に基づくものでなければならない。

- (ア) 人権意識に基づいた対人援助技術の向上を図る。
- (イ) 施設内研修計画に基づき、研修を深める。
- (ウ) 資格取得等自己研鑽に努める。
(社会福祉士 介護福祉士 介護支援専門員 等)

3. 沿革および概要

昭和 52. 8	知的障害をもつ子供たちの将来を考え、小規模授産所を親の手でつくろうと資金作りのための活動が始まる。
昭和 57. 4	施設建設を目的としたひまわり部会が発足し、婦人会民生委員を中心としたボランティアが結成される。
昭和 59. 3	揖保郡南部三町の共同設置で設立準備始まる。 法人名 社会福祉法人 揖南福社会 施設名 サルビア園（定員35名）
昭和 60. 12	三町（揖保川・御津・太子）より土地の無償譲渡を受ける。
昭和 60. 12. 25	「社会福祉法人 揖南福社会」設立認可
昭和 61. 3. 28	「サルビア園」竣工式
昭和 61. 4. 1	「サルビア園」開園
平成 1. 7. 1	「サルビア園」作業棟完成（清水基金・三町補助）
平成 1. 8. 1	定員40名に増員
平成 2. 10	入所施設建設用土地買収、入所施設建設計画
平成 2. 10. 10	運動場完成
平成 5. 3. 31	「サルビアの家」竣工式（定員32名）
平成 5. 4. 1	「サルビアの家」開所
平成 8. 8. 31	「サルビアの家」生活訓練棟「ボンネルフ」完成
平成 10. 9. 1	「サルビアの家」重度棟増築（定員52名）
平成 16. 11. 30	「サルビアの家」自活訓練棟完成
平成 17. 3. 7	「サルビア園」作業棟（新）完成
平成 21. 12. 1	「サルビア園」障害者自立支援法新体系に移行（生活介護）
平成 22. 3. 1	「サルビアの家」障害者自立支援法新体系に移行（障害者支援施設）
平成 25. 5. 1	相談支援事業所「やっほ」開設

4. 組織



5. サービス内容

(1) 日常支援サービス

内 容：アセスメントを踏まえ、利用者の心身の状況に応じて、ADLの援助を行なう。また、本人のエンパワメントを高めることを主眼におき、可能な範囲における自立を目指す支援を行うと共に、生活習慣・生活リズムの確立と自立へ向けての個別化をすすめる。

食事	自助皿等の工夫で、できるかぎり自力で食行動が行なえるように支援する。 楽しい雰囲気、食事ができるような工夫を行なう。
排泄	定時排泄の実施により、排泄リズムを身につける。
着脱衣	利用者自身が困難な部分のみを支援する。
移動	個人のADLや心理的状況に応じて支援するとともに安全に配慮する。
相談	利用者および家族からの相談に誠意を持って対応する。 担当職員以外に、必要に応じて、関連職種の職員または施設長等が対応する。
送迎	希望に応じ可能な限り事業所～指定場所（自宅等）間の送迎を実施する。

(2) 日中活動支援サービス

内 容：生活リズムを獲得し、その活動を通じて社会と接点を持っていく。また、個人の希望にそった活動を支援することで、利用者の主体性を高めて、精神的に豊かな生活を獲得する。

(ア) 作業活動

種類	内 容
紙パック千切り	機能訓練を兼ねた牛乳パック千切り
地域（公園）清掃	地域の道路や公園等の清掃
園芸	花壇等に季節ごとの花を植え手入れする
企業委託作業等	緩衝材（クッション）の梱包 等

(イ) その他の活動

種 類	内 容
文化的活動	音楽活動 指導：福井圭子さん（音楽療法士）他 習字・硬筆 : 生活支援員
創作的活動	さをり織り・絵・ぬり絵・はり絵・ビーズ・パズル等 グループ別に実施
学習	文字の練習や書き写し・計算等
運動	散歩等により体力の増進を図る。 リズム体操 指導：平手ちあきさん
バス外出	施設のバスで、近隣の公園等の施設や景勝地へ出かける。
その他	カラオケやビデオ等の機器を備えている。 喫茶ソレイユの営業

(3) 施設環境整備サービス

I. 調理

内容：生活の中で食事が占めるウエイトは極めて大きく、利用者にとっては大きな楽しみのひとつである。人間の生存に必要な生理的機能のみでなく、感覚的、心理的、文化的な機能も合わせて持っており、個人的色彩が強いことを十分に認識し、栄養のバランスと摂取量、献立の工夫などを配慮し、食生活を楽しめるものとなるよう努める。また、食中毒防止等のため、機器や手指等の消毒や衛生管理を徹底する。

※平成17年5月1日より業務委託を実施

(盛付、きざみ等の形状、食器の管理等は、施設職員が実施する。)

項目	内容
栄養管理	荷重平均栄養所要量の算出（性別・年齢・体重・生活活動強度より） 年1回
食品構成作成	荷重平均栄養所要量の充足と共に、喫食者の嗜好を考慮して決める。
残食調査	毎食実施し、残食の理由を検討する。
検食簿	毎食実施 味付け・盛付・献立メニュー・献立と実際の料理の質・量を評価
適切な食事内容の提供	個人にあった食事の形状（一口大、刻み、粗みじん等） 偏食への対応、入所以前の食習慣や嗜好等により可能な限り配慮する。 盛り付け時間を考慮し、適温給食を提供する。 定期的に変更メニューを取り入れる。
行事食・季節食	各行事に即した献立を作成し、四季折々の素材を使い、季節感を味わう。
非常時の対応	備蓄食品（水）の保管（生活訓練棟横倉庫） 集団給食施設緊急時給食支援ネットワーク（龍野保健所管内の施設との連携） … 食中毒発生時

II. 清掃・整理整頓・安全点検・衛生管理

種類	内容
大掃除	毎月第4（又は最終）金曜日
施設内掃除	随時
安全点検	設備等の定期点検 月1回
衛生管理	施設内消毒（消毒液・次亜水の使用） 手洗い・手指消毒、食堂内、厨房内の洗浄・消毒 防虫防鼠 毎月の点検と年2回防虫施工 食堂・厨房等は、ねずみ・衛生害虫防除管理作業（業者委託） グリーストラップ清掃（業者委託）
衛生講習会	職員の意識向上のため、定期的に講習会を開く。

(4) 保健医療サービス

内容：利用者は、年々重度化・重複化・高齢化によりその身体的精神的状況も多様性を示している。その一方で知的障害のある人たちは自分の症状を的確に相手に伝えることができないことが多く、症状の表出も一般的でない場合もある。利用者の医療ニーズの高さに対応して、医療機関と連携を図りながら、細かい観察と速やかな対応を行なっていく。

また、家庭と連携をとりながら、疾病の予防や感染症対策についても積極的に取り組んでいく。

年間計画

	項目	実施	備考
日常健康管理	投薬管理	随時	
	清潔検査	毎週木曜日	爪、耳垢のチェック
	体重測定	第4水曜日他	
	血圧測定	第4水曜日他	
	検温チェック	第4水曜日 及び随時	平熱を確認 風邪等流行時 冬季随時
	健康チェック	随時	活動時の様子観察
	手洗いの徹底	随時	食事前、作業終了時等
	うがいの励行	随時	風邪等流行時 冬季随時
	歯科指導	第3水曜日	歯科衛生士によるブラッシング指導
検診等	内科検診	3月	内科嘱託医による検診
	精神科検診	6月	精神科嘱託医による検診
	健康診断	9月	血液検査・検尿・心電図等
	職員健康診断	9月	職員を対象に血液検査・胸部X線・検尿等
	職員腰痛検査	9月・2～3月	直接処遇職員対象に問診等検査
	がん検診	9月	40才以上 希望者のみ
	インフルエンザ予防接種	11月	希望者のみ接種

(5) 防災安全

内容：非常災害（火災・水害・地震等）の危険から身を守るために必要な教育および訓練を行なうことにより、日頃から安全に気をつけるように心がける。

施設利用者は、危険に対する判断や予測がつかないことが多い。利用者の日頃の行動特性を観察し、事故回避のために物的人的環境を整える。

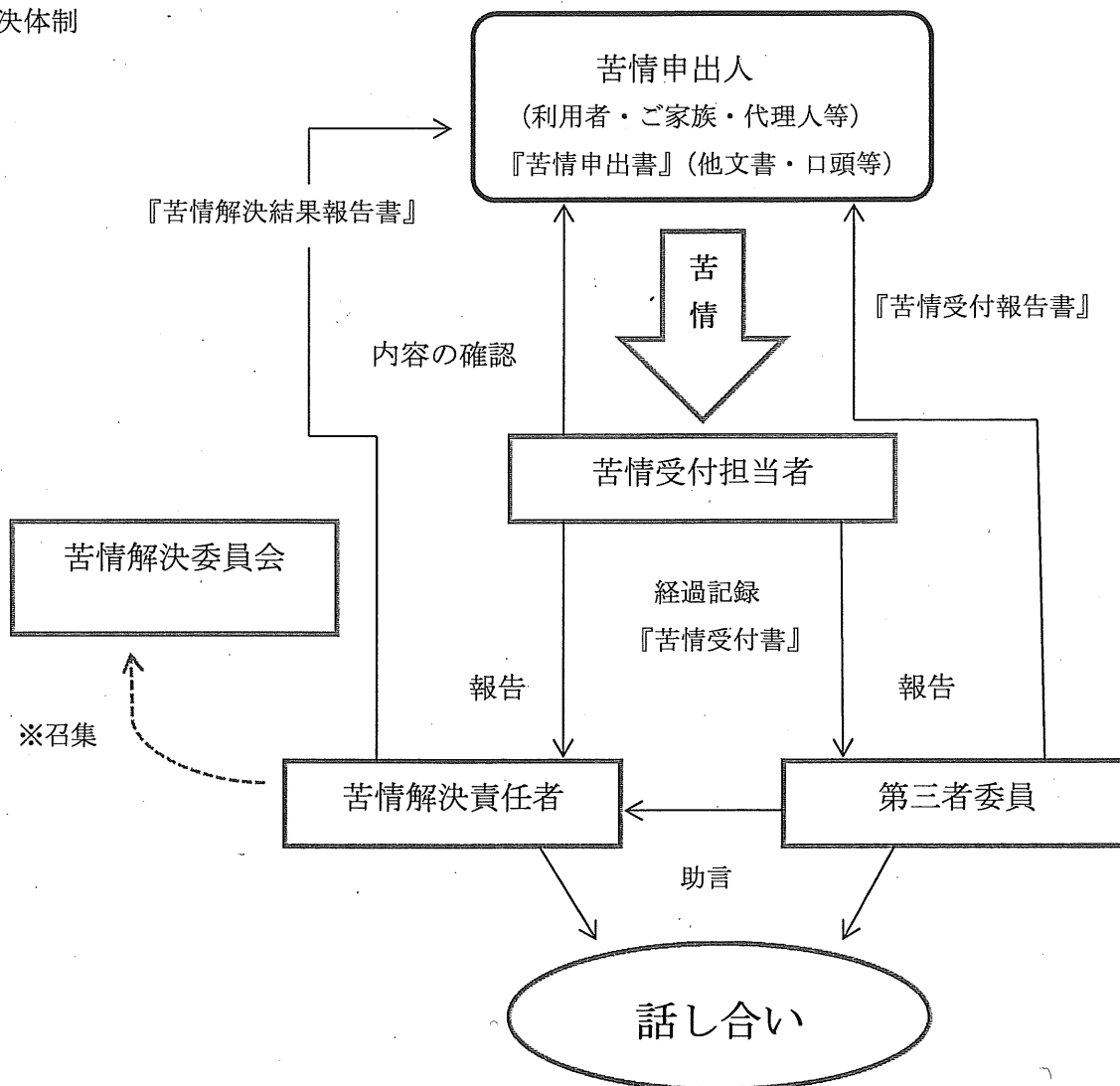
防災訓練	年2回以上 昼間の火災、土砂災害を想定
防犯訓練	不審者侵入を想定した防犯訓練
交通安全講習	安全運転管理者による講習（年1回）

(6) 苦情解決体制

内 容：利用者の苦情を解決することにより、福祉サービスの質を高め、運営の適正化を図り、施設への信頼を深め、利用者の満足度を高める。

苦情受付担当者	主任生活支援員：有年秀夫、 担当支援員
苦情解決責任者	高瀬 勝伸
第三者委員	熊谷智加子（神戸医療福祉大学常勤講師）

苦情解決体制



週 課 表

令和5年4月1日

曜日	第 1 週	第 2 週	第 3 週	第 4 週
月	AM 作業等 散歩	作業等 散歩	作業等 散歩	作業等 散歩
	PM 作業等	作業等	作業等	作業等
火	AM 作業等 散歩	作業等 散歩	作業等 散歩	作業等 散歩
	PM 作業等	作業等	作業等	作業等
水	AM 作業等 リズム体操	散歩等 音楽活動	作業 散歩等 歯科指導	作業等
	PM 作業等	作業等	作業等 ☆茶話会(年2回)	作業等
木	AM 清潔検査 喫茶 学習等	清潔検査 喫茶 学習等	清潔検査 喫茶 学習等	清潔検査 喫茶 学習等 習字
	PM 作業等 喫茶	作業等 喫茶	作業等 喫茶	作業等 喫茶
金	AM 作業等	作業等	作業等	作業等
	PM 作業等	作業等 体重・血圧報告	作業等	避難訓練 大掃除
土	AM			
	PM			
日	AM			
	PM			

※作業等は各グループに別れて実施（作業棟新・作業棟旧・多目的室）

作業等内容【紙パックちぎり・クッション梱包・さをり織り（創作） 等】

サルビア園年間行事計画 (令和5年度/2023年度)

月	園内行事	園外行事及びその他
4	(7金) お花見ドライブ (3月～28金) 個別面談	ふれあい橋ギャラリー作品展示 (3/31～4/28) (21金) 避難訓練
5	お楽しみ会 (国見の森公園散策等) ()・()・()	(26金) ばんたん親善運動会
6		() 精神科検診 (23金) 避難訓練 (土砂災害を想定)
7	(7金)七夕 (15土) 夏祭り※海の日の前々日	
8		
9	グループ外出①	() 健康診断 () 法人内研修
10	グループ外出② グループ外出③	() 神部小音楽学習発表会 () きずな with サルビア
11		() インフルエンザ予防接種 (24金) 避難訓練
12	(11/30木) 老人クラブ交流会* (8金) クリスマス会* (29金～1/3水) 冬期休園	ハートフルアートギャラリー作品展示 (22金) 避難訓練
1	(5金) 初詣 (12金) 新年会	
2	(2金) 節分	() 合同防災訓練*
3	(1金) ひな祭り	() 内科検診 (22金) 防犯・避難訓練

*はサルビア園、サルビアの家合同実施行事

6.地域とのかかわり(地域との交流)

① ボランティアの受け入れ

- ・御津ボランティア (太子町・揖保川町 解散：令和3年度)
活動内容/活動日：行事の支援、茶話会
- ・学生ボランティア
活動内容：行事の支援等
- ・一般ボランティア
活動内容：作業補助 行事の支援等

②地域の諸団体との交流

- ・老人クラブ … カラオケ交流会 ※黍田・山津屋・駅前・大門
- ・神部小学校 … 音楽学習発表会

③日中活動の支援 (講師等)

- ・歯科指導 毎月第3水曜日 歯科衛生士 1名
- ・音楽活動 毎月第2水曜日 音楽療法士 2名
- ・リズム体操 春秋第1水曜日 講師 1名

④地域への啓発

- ・黍田・原自治会、町内関係諸団体へ広報誌「さるびあ」の配布
- ・ふれあい橋ギャラリー作品展示
- ・ハートフルアートギャラリー作品展示

⑤実習生等の受け入れ

- ・福祉系大学生 : 社会福祉・保育実習
- ・龍野北高校生 : 介護実習
- ・介護等体験 : 教員免許特例法に基づく介護等体験
- ・小中学校教員 : 初任者研修
- ・たつの市職員 : 民間事業所派遣研修
- ・特別支援学校生徒 : 施設結合実習
- ・揖保川中学校生徒 : トライやるウィーク

⑥各種団体への参加

- ・たつの市社会福祉協議会評議員
- ・たつの市社会福祉法人連絡協議会幹事

⑦その他

- ・環境美化活動
黍田・原地区・駅周辺に落ちている空缶や吸殻・ゴミ等を拾い地域の美化活動に貢献
- ・地域公益活動 (地域の福祉関係団体等に活動場所等を提供)
町の子育て広場 (ホットプラザ) 場所 (建物)・設備の無料貸出し、人的支援
認知症カフェ (ゆいカフェ) 場所 (建物)・設備の無料貸出し、人的支援

